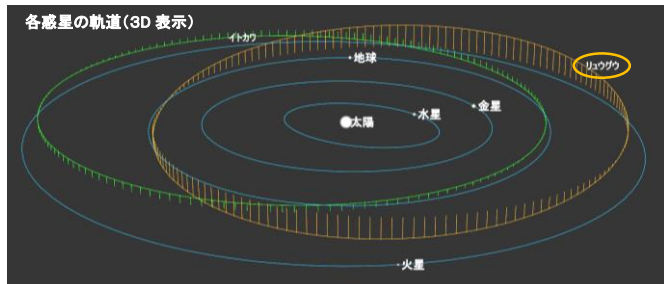


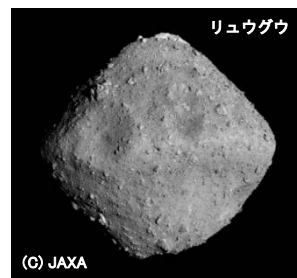
ジオスペース館だより

★地球接近小惑星リュウグウ

「はやぶさ2」が探査した小惑星リュウグウは1999年に発見され、その軌道はイトカワと同じように、太陽から一番離れたときには火星の軌道のすぐ外側を通り、太陽に一番接近したときには地球の軌道のすぐ内側を通る、地球接近小惑星です。リュウグウの名前は、一般応募による案で、サンプルカ



図はステラナビゲーター11を用いて作成、縦の線は軌道の傾斜(黄道面からの距離)を表示

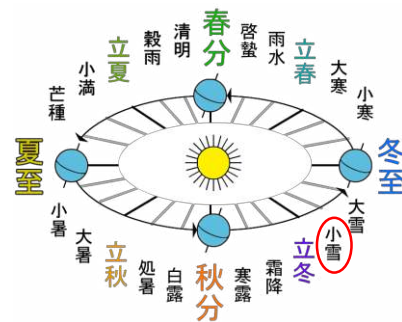


プセルを地球に持ち帰る「はやぶさ2」が、竜宮城から玉手箱を持ち帰る浦島太郎のお話をイメージさせることから選考され、国際天文学連合の審査を経て名付けられました。

地球からの観測で、リュウグウは、直径約900m、表面が黒っぽく、炭素質の物質からできており、自転周期は約7.6時間、1.3年ほどで太陽の周りを回っており、ほぼ球形をしていると考えられていましたが、「はやぶさ2」の撮影した写真では、そろばん玉のような形をしていました。リュウグウは岩の塊がくっついたような構造の、イトカワより原始的な天体で、太陽系が誕生した約46億年前に元となる母天体ができ、他の天体と衝突してバラバラに砕け、その破片が集まってできたと考えられています。現在、「はやぶさ2」が持ち帰ったサンプルの研究が進められていますが、太陽系の誕生や進化、地球の海や生命の元となる水や有機物の起源などの謎に迫る新しい発見が期待されています。ジオスペース館ではプラネタリウムの入口に、リュウグウの模型を展示しており、「はやぶさ2」がタッチダウンした地点である「タマテバコ」や「ウチデノコツチ」の場所のほか、「モモタロウクレーター」「ウラシマタロウクレーター」など、リュウグウの地形が表示されていますので、ぜひ見に来てください。

★二十四節気・11月22日は《小雪》

1年を24等分し、季節を表す二十四節気。11月下旬の節気は《小雪》と呼ばれ、毎年11月22日頃になります。《小雪》とは、寒くなって雨も雪となって降るという意味で、寒さは増してきますが、たまに雪などが降ってもほとんど積もらず、冬の初めの頃をいいます。日の光が弱まり、北風が吹きはじめて、木の葉が舞い落ちる季節です。



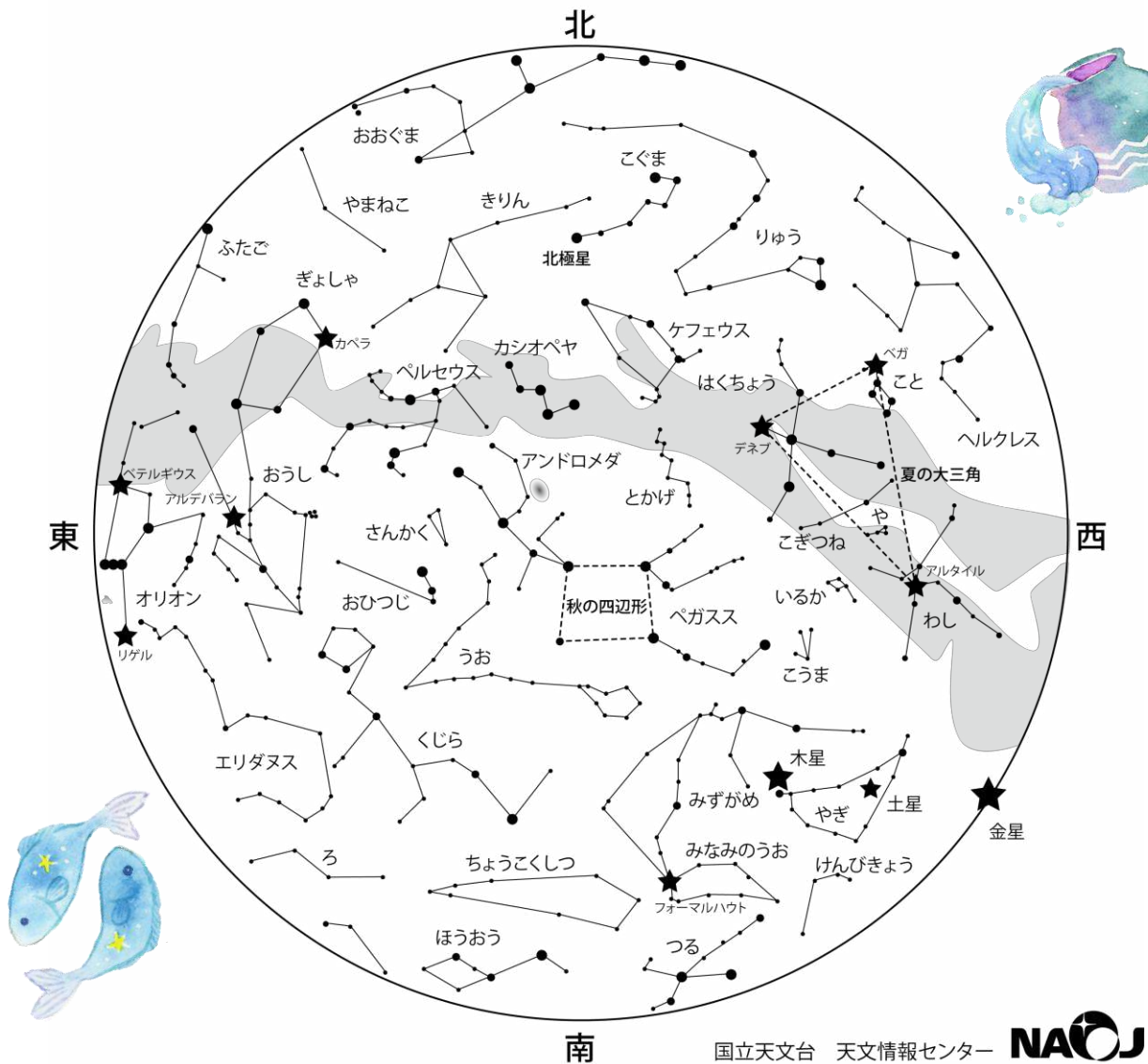
★11月19日は部分月食が見られます！

11月19日の夕方から宵にかけて、全国で部分月食が見られます。部分月食のはじまりは16時18分頃で、月が最も欠けて見える《食の最大》は18時2分頃。今回は部分月食ですが、月の大部分が地球の影の中に入るので、食の最大の頃には、皆既月食のように影が赤っぽく見えるかもしれません。その後、月は空を昇りながら地球の影から出て、19時47分ころには部分月食が終わります。ぜひ観察してみてください。



- ★ 11月のプラネタリウムの内容につきましては別刷りの「投影案内」をご覧ください ★
- ★ プラネタリウムのお休み 11/15(月)、17(水)、22(月)、24(水)、29(月)
- ★ 新型コロナウイルス感染症対策で、入場定員を減らして投影しています。

11月下旬午後7時30分頃の星空



国立天文台 天文情報センター **NAOJ**

★ 11月下旬の主な天文現象

16日(火)	木星のガリレオ衛星相互食	22日(月)	小雪
18日(木)	しし座流星群が極大	27日(土)	☾ 下弦
19日(金)	☉ 満月(部分月食)	28日(日)	準惑星ケレスが衝
21日(日)	おうし座 γ 星の食		

★ 国際宇宙ステーション(豊川での主なデータ 11/15~30) ※ 下記時刻は、予想値です

◇	11月18日(木)	[見やすさ ◎]	17:53	南南西	~	17:58	東北東
◇	11月19日(金)	[見やすさ ◎]	17:07	南南西	~	17:13	東北東
◇	11月20日(土)	[見やすさ ◎]	17:56	西南西	~	18:01	北北東
◇	11月21日(日)	[見やすさ ◎]	17:09	南西	~	17:16	北東

豆知識：国際宇宙ステーション (ISS) は、明るい星が動いているように見えます。
飛行機のような赤緑ランプの点滅はありません。